

(仮訳)

ロシア中央銀行プレスリリース

ロシア中央銀行、輸出業者による外貨売上高売却の期限を 120 労働日まで延長

2022 年 5 月 26 日

ロシア中央銀行理事会は、輸出業者の外貨流動性管理の可能性を拡張することを目的として、外貨の義務的売却に関する要件をさらに緩和する決定を採択した。

輸出業者は、公認銀行の自分の口座に振り込まれた外貨の、2022 年 2 月 28 日付ロシア連邦大統領令第 79 号に定める金額の義務的売却を、公認銀行のトランジット通貨口座に振り込まれた日から数えて 120 労働日以内に履行すればよいことになる。

この決定は、公認銀行の居住者口座に振り込まれた日付にかかわらず、義務的売却が履行されていない外貨を対象とするものである。

前回の外貨の売却期限の延長は、3 労働日以内を 60 労働日以内にするものであった。

2022 年 5 月 23 日付ロシア連邦大統領令第 303 号により、外貨の義務的売却額は、対外経済活動参加者たる居住者の外貨による輸出売上高の 80%であったものが 50%に引き下げられている。

加えて、ロシア連邦における外国投資実施状況監督政府委員会小委員会の決定により、輸出業者が蓄えた外貨を輸入契約による義務の遂行に充てる場合、その外貨はその振込日から 120 労働日以内に行うべき義務的売却の対象としなくてもよいことになる。